

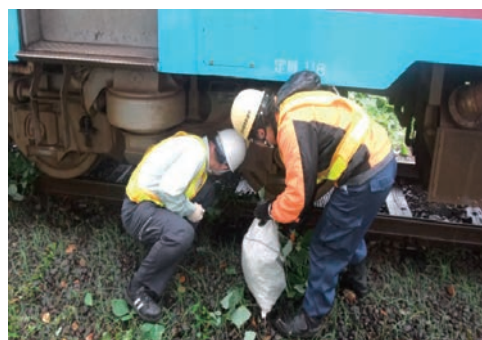
技術支援の取組み

Activities for Progress of Technical Level of Railway Engineers

概要

会員の皆様が抱える鉄道技術に関する課題（疑問、悩み）等を解決するための技術支援活動を行っています。平成28年度は、会員の技術的課題に関するご相談141件（現地調査33件含む）に対応するとともに、主要都市での講演会の実施等、会員の技術力の維持・向上に寄与する活動を展開しました。

特に重点をおいた地方鉄道への技術支援については、現地調査等が15社21件、文献・研究室の見解等の提示が44社72件となりました。

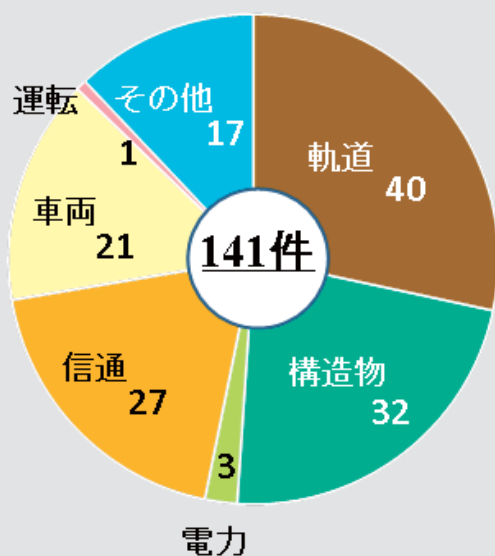


急勾配区間における列車発進に関する現地調査



噴泥対策工事の施工に関する現地調査

技術的なご相談への対応状況



平成28年度の分野別ご相談件数

- 軌道
 - ・レール波状摩耗に関する調査
 - ・砕石道床の流動対策に関する調査 など
- 構造物
 - ・既設石積み壁の補強方法に関する調査
 - ・高架橋コンクリート剥落に関する調査 など
- 信通
 - ・信号設備の更新計画に対するアドバイス など
- 車両
 - ・急勾配区間での列車発進に関する調査 など
- その他
 - ・ヒューマンエラー防止に関する講演
 - ・バリアフリー整備基準に関する講演 など
- 電力
 - ・電車線路更新に関する調査 など

鉄道技術教材

実務の中核を担う中堅技術者クラス向けに、「事故に学ぶ鉄道技術」シリーズを各技術分野ごとに作成しています。

事象事例等を体系的に整理し、原因や対策だけでなく、学ぶべきポイントや技術的解説を設け、幅広い知識の習得ができる構成としています。

なお、現在、同シリーズ「ヒューマンファクター編」発刊に向け、編集作業を進めています。



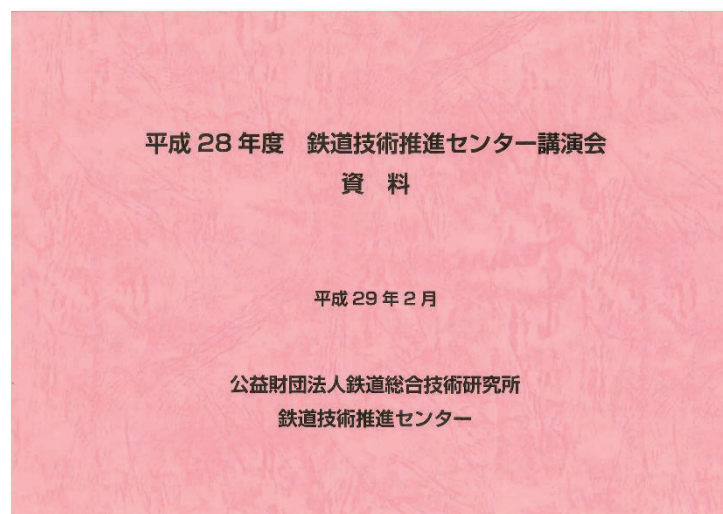
事故に学ぶ鉄道技術（変電編） 全157頁
【平成27年4月発行】

その他、下記分野の書籍をシリーズ本として発行しております。
【軌道編 信号編 電車線編 災害編 車両編Ⅰ,Ⅱ】

講演会

国土交通省の協力を得て、降雨等による鉄道斜面災害の防止及び各鉄道事業者において検査・保守業務を行う際の参考としていただくため「土構造物の検査方法に関する講演会」を、平成28年1月～平成29年3月にかけて、全国8会場（仙台、横浜、長野、名古屋、大阪、岡山、高松、福岡）で開催し、延べ433名の方々にご参加いただきました。

また、地方鉄道協会技術委員会等で6件の講演を行いました。



「土構造物の検査方法に関する講演会」の様子
（岡山コンベンションセンター）

<p>土工設備の検査と着眼点</p> <p>—斜面防災対策の基本—</p> <p>(公財)鉄道総合技術研究所 鉄道技術推進センター レールアドバイザー 京都大学大学院 工学研究科 社会基盤工学専攻 岡山 支室</p>	<p>本日の予定</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 鉄道構造物の分類と土工設備 2. 不安定化のメカニズム 斜面災害の要因と分類 何故斜面は崩壊するか(斜面不安定化メカニズム) 斜面安定の検討方法 斜面安定対策工事の基本 3. 盛土・切土法面の維持管理 維持管理の基本 点検時の着眼点と診断 4. ソフト対策による事故防止
<p>1. 鉄道構造物の分類と土工設備</p> <p>鉄道構造物</p> <p>橋梁 橋梁 上部構造 下部構造 コンクリート構造 鋼構造・合成構造</p> <p>トンネル 山岳トンネル シールドトンネル</p> <p>土構造等 盛土 切土 土留め 排水設備 防護設備 ……</p> <p>停車場</p> <p>土工設備</p>	<p>土工設備</p>

鉄道技術推進センター講演会資料